

浜松市無形民俗文化財 保護団体連絡会

会長 前嶋 功



浜松市無形文化財
保護団体連絡会報
第001号

民俗芸能の宝庫として 注目されている

浜松市長 鈴木康友



遠江・山と里の民俗

このたび、初代会長の職を拝命することとなりました。川名ひよんどり保存会の前嶋功と申します。

さて、私たちの民俗芸能を説明する際に「文化」や「伝統文化」という言葉が用いられます。「文化」とは、ある社会における人間の活動とその所産を全体として文化と呼ぶと定義づけられています。

「伝統文化」とは、風土と歴史の中で培われてきた文化を伝統文化と呼ぶと定義づけられています。私たち人間も動物として地球上で生きていくわけですが、人間と他の動物との違いは、「文化」の有無ではないかと考えております。

私たちが暮らす浜松市内には、人間活動の営みとして、古来から連続と守り伝えられてきた特徴的な民俗芸能が多くあります。これこそがまさに、浜松市の豊かな風土と歴史の中で培われてきた「伝統文化」であります。この貴重な伝統文化を後世に残し伝えるため、本連絡会では保存会相互の情報共有を一層促進し、各保存会の伝承活動が活性化するように努めてまいります。

本連絡会の趣旨に賛同され参加された保存会の皆さまとともに、浜松の「伝統文化」の保存と継承に尽力してまいりますので、今後ともご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

本市には、天竜川や浜名湖に代表される豊かな自然に育まれた多種多様な民俗芸能などの伝統文化があり、民俗芸能の宝庫として全国的にも注目されている地域です。しかし、中山間地域を中心に少子高齢化などによる後継者不足の問題など、保存・継承活動を推進するに多くの課題があると認識しています。

平成19年に「遠江のひよんどりとおくない連絡協議会」が設立され、保護団体の広域連携の先進事例として、全国的にも注目されました。平成23年には市制100周年を記念して「浜松市伝統芸能の集い」を開催し、あらためて民俗芸能の素晴らしさと大切さを市民の皆さまに認識していただきました。

これらをきっかけに、団体間相互の意見交換が行われ、無形民俗文化財を後世に継承し発展させるため、関係者が一緒になって取り組むという機運が高まり、今回の設立に至ることは嬉しく思います。

市内19団体の皆さまが参加されています。貴重な無形民俗文化財が後世にしっかりと継承されるよう、連絡会を通じて連携を深めていただくとともに、市としても、連絡会の活動を支援できるよう努めます。

本連絡会設立を機に、参加されている団体の皆さまの活動が一層充実するとともに、本連絡会が大いに機能し発展することを期待します。



天竜区佐久間町

① 寺野のひよんどり

寺野のひよんどりは、申楽・田楽といった中世芸能の流れを引く五穀豊穣を祈る春祈禱の祭りで、13番の舞が奉納されます。特に、暗闇の中で3匹の鬼が松明の火を叩く鬼の舞は、豪壮にして厳肅な空間を醸し出します。



■日時：1月3日午後2時～
■場所：宝蔵寺観音堂（三日堂）
（北区引佐町渡川字寺野）

② 川名のひよんどり



川名のひよんどりは、夜空を焦がす大松明と若者の揉み合いが豪壮で印象的であることから「ひよんどり」と呼びなわわしています。堂内では禰宜の舞ほか9つの舞が奉納され、一同で汁掛飯を食して終了します。

■日時：1月4日午後6時～
■場所：福満寺薬師堂（八日堂）
（北区引佐町川名）

③ 懐山のおくない

懐山のおくないは、泰蔵院の奥に祀られている阿弥陀様の前行われる修正会です。神楽と田遊びにより構成され、特に、田遊びの芸能には「塩買」「綿買」といった当時の村人の生活がよく表されています。



■日時：1月3日午後1時頃～
■場所：泰蔵院（天竜区懐山）

④ 西浦の田楽



西浦の田楽は、能衆と呼ばれる世襲の人々により伝えられてきた五穀豊穣・無病息災・子孫長久・水火の難を除く祭礼です。地能33番、はね能12番など、特徴ある舞が夜通し演じられます。

■日時：旧暦1月18日日出し
翌1月19日日出し
■場所：西浦所能観音堂境内
（天竜区水窪町奥領家）

⑤ 呉松の大念仏

呉松の大念仏は、遠州大念仏の他の組と異なり、いたずらに華美に流れることなく、素朴ながらも供養の精神にあふれ、荘厳な趣を湛えています。服装も、黒の紋付に黒の三尺帯、頭に手ぬぐいを被り、菅笠をつけるなど他の組にはない特徴を持っています。



■日時：8月15日午後1時頃～
■場所：宿蘆寺（西区庄内町）

⑥ 滝沢の放歌踊



日時：8月13日夕方
場所：林慶寺境内（北区滝沢町）

滝沢の放歌踊は、先祖の回向を目的に、毎年8月のお盆の時期に地域の初盆宅を回り、念仏踊りで祖先供養をします。江戸時代、三河から引佐を経由して滝沢に伝えられたといわれています。

⑦ 横尾歌舞伎

横尾歌舞伎は、役者・太夫・三味線弾きから、振付・着付・床山・大小道具係にいたるまで、全て地域の人たちの手で賄われています。大人だけでなく少年団活動も盛んに行われ、様々な年齢層で活発な伝承活動を行っています。



日時：10月第2土曜日午後4時～
場所：開明座（北区引佐町横尾）

⑧ 川合花の舞



■日時：10月土曜午後3時～翌朝
■場所：八坂神社（天竜区佐久間町川合）

川合花の舞は、奥三河の花祭の系統を引く五穀豊穣、無病息災を祈る湯立神楽です。神社境内に設えた舞処で「金山の舞」「花の舞」「山見鬼」「神鬼」など18番の舞が夜を徹して奉納されます。

⑨ 西浦の念仏踊

西浦の念仏踊は、西浦地区の各組で伝承されている念仏踊りです。檀那寺永泉寺に念仏衆が集まり、御施餓鬼踊りをし、初盆の供養をします。双盤・笛・桶胴の縮太鼓の楽で、提灯・太鼓を持って踊り供養します。



■日時：8月8日夕方
■場所：永泉寺（天竜区水窪町奥領家）

⑩ 遠州大念仏



日時：7月15日夜
場所：犀ヶ崖資料館前庭（中区鹿谷町）

遠州大念仏は、三方ヶ原の戦いの戦死者供養のため始まったといわれています。現在は、それぞれの組で独自の節回しや踊りが発達し、7月・8月の盆時期、市内の初盆宅で奉納供養が行われています。

⑪ 百万遍念仏と念仏講



■日時：1月上旬午後1時頃～
■場所：妙功庵観音堂（北区細江町中川）

百万遍念仏と念仏講は、数珠を回して1年の無事を願う行事です。子どもを含む地域住民が堂内で輪になり、南無阿彌陀仏と口々に唱えながら長さ約8メートルの数珠をかねの音にあわせて一心に回し続けます。

⑫ 神沢のおくない



■日時：1月4日午後1時～
■場所：万福寺阿彌陀堂（西神沢老人憩いの家）（天竜区神沢）

神沢のおくないは、西神沢の石野禰宜家を中心に14戸の宮子（宮講）組織が伝承していました。地元古老と熊中（現清竜中）生徒による継承活動の後、平成21年同好会と清竜中生徒により再興されました。

⑬ 犬居つなん曳



■日時：5月5日午後6時～
■場所：犬居地内（天竜区春野町堀之内）

犬居つなん曳は、犬居地区で実施される年中行事です。地区の若衆（龍勢組）が気田川河原で作った、柳の枝や笹竹で竜をかたどった蛇体を、初節句の家を祝いながら街道沿いに引き回す豪壮な行事です。

⑭ 東久留女木の万歳楽



■日時：2月1日午後6時～
■場所：阿彌陀堂（北区引佐町東久留女木）

東久留女木の万歳楽は、禰宜を務める仲井家はじめ東久留女木地区28戸で執り行われています。寺野や川名のような芸能は失われていますが、かつては面があり舞が行われていたといわれています。

⑮ 勝坂神楽



■日時：10月下旬の日曜正午～
■場所：清水神社～八幡神社（天竜区春野町豊岡）

勝坂神楽は、子授け・子育ての神として知られる清水神社と八幡神社の祭りに奉納される神楽です。神楽獅子舞と渡御の道中舞で構成され、清水神社での舞を「ほろ舞」、八幡神社での舞を「ぬさ舞」といいます。

⑯ 雄踏歌舞伎「万人講」



■日時：1月第3日曜日
■場所：雄踏文化センター

雄踏歌舞伎万人講は、村の誰もが参加できる農村歌舞伎として、幕末から明治・大正にかけて、寺社の祭礼や劇場で盛んに演じられていました。平成元年、雄踏文化センター完成を機に保存会が結成され、地域の伝統を守り伝えています。

⑰ 滝沢のおくない



■日時：1月1日午前9時～・1月4日午前10時～
■場所：四所神社・林慶寺（北区滝沢町）

滝沢のおくないは、「シシウチ神事」「シートー祭り」「揉み飯祭り」「平治祭り」などを総称した一連の正月行事です。大禰宜・小禰宜と呼ばれる世襲の神職と、大世話人・小世話人と呼ばれる若い衆によって伝えられています。

⑱ 浦川歌舞伎



■日時：9月第4土曜日夕方～
■場所：旭座（天竜区佐久間町浦川旧浦川中学校体育館）

浦川歌舞伎は、安政年間の江戸の歌舞伎役者「尾上栄三郎」が浦川の地で没後、歌舞伎の魅力に感銘を受けた村人たちが自ら演じたことから始まりました。平成元年、保存会が結成され、地域をあげて江戸歌舞伎の伝統を守り伝えています。

⑲ 今田花の舞



今田花の舞は、佐久間町の北端、10数軒の今田集落で奉納される湯立神楽です。「おにめん」など特徴的な面を付けた舞や、「御湯探」（湯清めの神事）などが行われ、よく古風をとどめています。
■日時：11月第2土曜日夜
■場所：一の宮又は二の宮（天竜区佐久間町奥領家）

■編集後記

浜松市無形民俗文化財保護団体連絡会報が発行できました。広くなった浜松市域には先人の残した数多くの民俗文化財が残されています。今回、19団体の活動を紹介させていただきました。今後、保存と伝承に向けて、この会報が相互の連携を深めることを期待しています。
(柴)

編集 浜松市無形文化財保護団体連絡会・発行 浜松市

No.	文化財名称	所在地	指定区分
1	寺野のひよんどり	北区引佐町	国指定
2	川名のひよんどり	北区引佐町	国指定
3	懐山のおくない	天竜区懐山	国指定
4	西浦の田楽	天竜区水窪町	国指定
5	呉松の大念仏	西区呉松町	県指定
6	滝沢の放歌踊	北区滝沢町	県指定
7	横尾歌舞伎	北区引佐町	県指定
8	川合花の舞	天竜区佐久間町	県指定
9	西浦の念仏踊	天竜区水窪町	県指定
10	遠州大念仏	中区鹿谷町	市指定
11	百万遍念仏と念仏講	北区細江町	市指定
12	犬居つなん曳	天竜区春野町	市指定
13	勝坂神楽	天竜区春野町	市指定
14	滝沢のおくない	北区滝沢町	国選択
15	今田花の舞	天竜区佐久間町	県選択
16	神沢のおくない	天竜区神沢	
17	東久留女木の万歳樂	北区引佐町	
18	雄踏歌舞伎「万人講」	西区雄踏町	
19	浦川歌舞伎	天竜区佐久間町	



寺野のひよんどり



滝沢のおくない